



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/
 2017年2月8日 発行

平成29年第5週(1月30日~2月5日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ ◎ :警報レベル

○ :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第4週	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	195501 39.41	1273 ○26.52	1245 ◎25.94	▼	561 ○28.05	500 ◎25.00	▼	73 ○14.60	110 ◎22.00	△	346 ◎34.60	266 ◎26.80	▼	293 ○22.54	369 ◎28.38	△	4608
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1121 0.35	5 0.17	6 0.20	△							4 0.67	6 1.00	▲	1 0.13		▼	24
咽頭結膜熱	976 0.31	8 0.27	10 0.33	▲	6 0.46	8 0.62	▲				2 0.33	2 0.33					37
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6852 2.17	185 6.17	141 4.70	▼	103 7.92	65 5.00	▼	5 1.67	2 0.67	▼	31 5.17	29 4.83	▼	46 5.75	45 5.63	▼	628
感染性胃腸炎	20117 6.36	110 3.67	120 4.00	△	45 3.46	38 2.92	▼	2 0.67	1 0.33	▼	39 6.50	50 8.33	△	24 3.00	31 3.88	△	698
水痘	1087 0.34	22 0.73	7 0.23	▼	15 1.15	4 0.31	▼		1 0.33	△	2 0.33	1 0.17	▼	5 0.63	1 0.13	▼	70
手足口病	542 0.17	3 0.10	2 0.07	▼	1 0.08	1 0.08			1 0.33	△	2 0.33		▼				16
伝染性紅斑	292 0.09		2 0.07	△		1 0.08	△					1 0.17	△				8
突発性発しん	1153 0.36	18 0.60	20 0.67	△	5 0.38	9 0.69	△				9 1.50	6 1.00	▼	4 0.50	5 0.63	△	87
百日咳	25 0.01	1 0.03		▼	1 0.08		▼										2
ヘルパンギーナ	99 0.03		2 0.07	△								1 0.17	△		1 0.13	△	13
流行性耳下腺炎	1878 0.59	15 0.50	28 0.93	△	4 0.31	10 0.77	△	1 0.33	6 2.00	△	10 1.67	12 2.00	△				146
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2 0																
流行性角結膜炎	338 0.49	1 0.13	1 0.13		1 0.25	1 0.25											5
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	46 0.1	1 0.10		▼	1 0.25		▼										2
クラミジア肺炎	10 0.02																
マイコプラズマ肺炎	241 0.51	4 0.40	5 0.50	△	2 0.50	2 0.50								2 0.67	3 1.00	▲	29
細菌性髄膜炎	6 0.01																1
無菌性髄膜炎	15 0.03																

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
急性脳炎	患者	1				※第4週追加報告分。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2		1	1	肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 1件、1回 1件、無し 2件。
梅毒	無症状病原体保有者			1		※第4週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴:無し

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	
インフルエンザ	5	15	53	52	60	81	80	96	69	87	63	329	49	29	
	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79	80歳~									合計
	38	34	33	33	21	18									1245
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症	1	3		1	1										6
咽頭結膜熱		2	6			1		1							10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	8	14	15	22	16	12	10	10	24	2	3	141
感染性胃腸炎	1	6	5	11	10	14	10	4	11	8	4	24	4	8	120
水痘						4		1		1		1			7
手足口病				2											2
伝染性紅斑					1					1					2
突発性発しん		7	11		1	1									20
百日咳															
ヘルパンギーナ			1	1											2
流行性耳下腺炎			1	2	3	3	6	6	2		2	3			28

<平成28年12月 月報>

2017年1月17日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1~12月
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 23	16	10	4	8	5	2	3	3	4	230
	定点当り 2.30	1.60	2.50	1.00	8.00	5.00	1.00	1.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	4	2	3	1		3	1			72
	定点当り 0.60	0.40	0.50	0.75	1.00		1.50	0.50			
尖圭コンジローマ	報告数 1	3		1			1	1	1	1	33
	定点当り 0.10	0.30		0.25			0.50	0.33	0.33		
淋菌感染症	報告数 3	4		1			1		2	3	29
	定点当り 0.30	0.40		0.25			0.50		0.67	1.00	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 9	6	3		2				4	6	70
	定点当り 0.90	0.60	0.75		2.00				1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	17	7	8	3		1	1	7	8	208
	定点当り 1.80	1.70	1.75	2.00	3.00		0.50	0.50	2.33	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

インフルエンザの定点当たり報告数は、置賜地区で警報レベル、村山地区、最上地区、庄内地区で注意報レベルとなっています。県平均の定点当たり報告数は、第2週から注意報レベルで推移しています。

・インフルエンザ

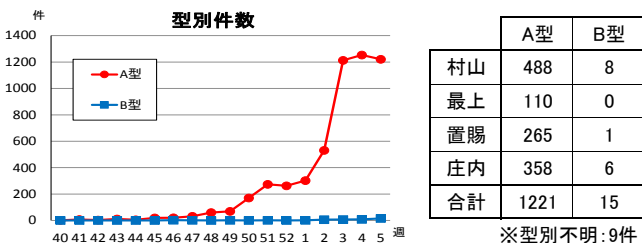
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人

・第5週 定点当たり報告数

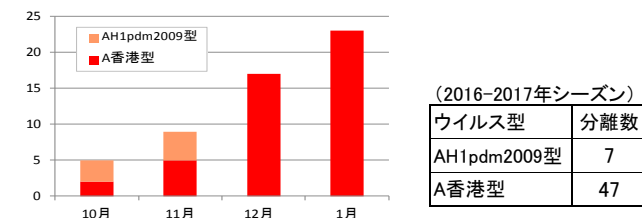
村山地区:25.0人 最上地区:22.0人
置賜地区:26.6人 庄内地区:28.4人 (県平均:25.9人)

1 定点医療機関情報(第5週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数



2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 2月1日現在)

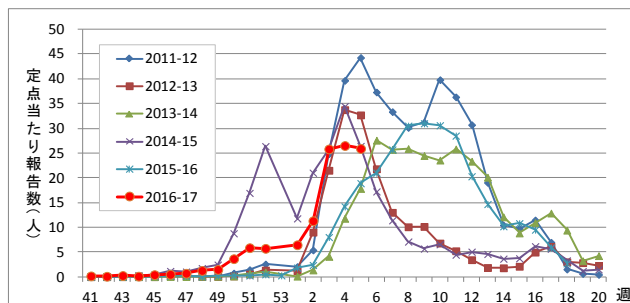


※AH1pdm2009型は、庄内地区の検体からのみ分離されている。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第5週)

種別	村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
幼稚園・保育所	6	2	0	5
小学校	20	1	0	10
中学校	3	0	0	6
高校	2	0	0	0
福祉施設 (老人福祉施設等)	2	0	1	0
その他	0	0	0	1

4 定点当たり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

